

2015年度(平成27年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番 12番 福山市立 培遠 中学校

1 授業の現状

- 「かく」活動を取り入れた授業を目指しているが、十分徹底できていない。
- ・意欲を引き出す「めあて」、分りやすくて確な「まとめ」、自分の言葉で書く「ふり返り」
- 単元のゴールを明確にした授業づくりができていない。

転換

2 めざす授業の姿

- 小中9年間を見通した思考力・表現力を育成する授業
- ・「かく」活動を取り入れた授業
- ・単元のゴールを明確にし、その達成に向けて生徒が主体的に活動する授業

3 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①単元の目標に基づいた「かく」課題を設定する。 ②「めあて」、「まとめ」、「ふり返り」を確実に行う。	①教職員達成率77.8% △考えを練る場面(ペア、グループなど)が十分に設定できていない。 ②「めあて」100% 「まとめ」87.5% 「ふり返り」95.7% ○「かく」活動を意識した授業づくりに取り組んでいる。 △書かせるだけでなく、内容の充実を図る。	①単元の目標に基づいた「かく」課題を設定する。(継続) ②「めあて」、「まとめ」、「ふり返り」を確実に行う。(継続) ③単元のゴールを明確にし、その達成に向けて生徒が主体的に活動する場면을授業の中に設定する。	①教職員達成率90.5% △明確な課題設定ができていない。(発問の工夫が足りない) ②「めあて」100% 「まとめ」95.8% 「ふり返り」91.3% ③主体的に活動する場の設定達成率76.2% △その単元を学ぶことの必然性が不明確。	①発問を工夫することで必然性のある「かく」課題を設定する。 ②「めあて」に対して自分の言葉で授業内容の「ふり返り」を確実にに行わせる。(継続) ③単元のゴールを明確にし、その達成に向けて生徒が主体的に活動する場면을授業の中に設定する。(継続)	①教職員達成率87.5% △必然性をもたせた発問に至っていない。 ②「めあて」100% 「まとめ」95.8% 「ふり返り」95.73% ③主体的に活動する場の設定達成率81.8% △意識的にグループ等を活用することはできているが、協働学習に至っていない。

4 取組の結果

数値は2015年(H27年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	69.2(-7.3)	63.4(-3.6)
数学	56.2(-8.4)	36.6(-6.1)
理科	46.6(-5.6)	

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプ I	タイプ II
国語	77.2(+1.5)	73.2(+8.4)
数学	75.7(+1.5)	59.7(+2.5)
理科	54.7(+3.7)	52.4(+3.3)
英語	77.7(+7.5)	63.0(+2.4)

体力・運動能力調査 (網掛は県平均以上: 県平均は、11月公表予定)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	22.53	23.70	38.23	50.59	64.82	8.57	182.1	18.32	1年	21.23	20.35	42.16	46.12	45.57	9.09	173.0	12.44
2年	28.95	25.12	42.22	54.00	73.11	7.84	202.5	20.73	2年	22.71	20.58	46.63	45.29	51.00	8.99	168.7	12.24
3年	32.76	31.00	46.19	57.58	90.73	7.28	219.8	22.76	3年	23.88	26.73	50.56	50.36	58.78	8.31	184.4	14.86

* 空欄には、20m シャトルランか持久走のいずれかを記入

「基礎・基本」定着状況調査 (生徒質問紙調査)(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	35.5	42.8	35.5	37.0	30.4	33.3	37.7	36.2
学校が楽しい	よく:37.0		やや:49.3					

暴力行為発生・不登校生徒率(%)

		3月末現在	
暴力行為	0.2%	不登校	2.8%

小中一貫教育に係るアンケート[対象:授業者](%)

1月実施

内容	よく当てはまる	当てはまる
仕事に意義とやりがいを感じている	10.5	5.8
日々の仕事に充実感がある	47.3	35.3